

10月30日(土)～31日(日)に昼夜ぶっ通しで「三河湾チャリティー100Km歩け歩け大会」に参加します。

【特選料亭白だし】でおなじみの安城市の七福醸造さんが主催されている大会で、今年で第9回目になるそうです。七福さんは阪神大震災の時に2tトラックに食材を詰め込み、毎日3000食の炊き出しを、なんと38日間実践された日本でも屈指のボランティアのリーダーカンパニーで、「西三河掃除に学ぶ会」で使わせていただいているトイレ掃除の道具も、全てこの七福さんからお借りしたものです。そのようなすばらしい会社の主催されている大会で、途中棄権のようなはじめは決してかけない！！ということで、その昔、大企業の登山部でならした宮本さんに歩き方を教わることにしました。

早朝、岡崎東公園で待ち合わせして、山道の6Kmコースを1時間かけて歩くという試みに挑戦しました。『30時間100Kmも歩くのに1時間6Km歩いたところどうなのヨ?』とおっしゃる方もあるやもしれませんが「まず一步、踏み出すことで世界が変わる!!」

というスローガンのもとに小さな一步を踏み出しました。

朝の空気はひんやりとして気持ちよく、小鳥がさえずり、木や土のにおいが朝露とともに一面に立ち込めていました。意外だったのはかなりの人たちが散歩をしていたことで、みなさん自由気ままに犬の散歩や、ラジオ体操や、読書をしていたり、写真を撮っていたり、絵を描いていたりとゆったりとした時間を楽しまれていました。私はなんだかぜんぜん違う世界の扉を開けたような気がしてとても楽しくなりました。

6Kmウォークの途中の山道には、ザリガニやメダカやカエルやいろいろな水中生物の保護している池があり、そこでたくさん育てて川に戻し、子供たちが川遊びできるようにしようとしているボランティアの人たちがいるということを知りました。ほんの少し時間と場所を普段と変えることによって気分が豊に変わり運動して健康になり、体重が減って中性脂肪も減り、空腹になって朝ごはんもおいしくなる。

「散歩ってこんなにいいものかぁ」と感動しながらの1時間でした。『30時間100Kmじゃそんなのんきなこといってれんよ!!』とおっしゃる方もあるやも知れませんがそれはまあ...その時です。限界への挑戦からどんな世界が見えてくるかは来月報告させていただきます。おたのしみに。

しかし毎朝4時に起きて新聞配達をしてからテクアに来られている東小野さんと白井さんはすごい。すごいのに当たり前のように仕事していつもニコニコしていて、もっとすごい。今回の私の師はこのお二人です。次回は是非「夜明けの世界」という題で寄稿をお願いいたします。

P.S. 秋になりました。茶碗蒸しの季節です。七福さんの白だしが最高です。

【羽原 篤史】